

# 八王子 水のまちニュース

第2号  
平成25年7月

八王子市水循環部  
水環境整備課  
042-620-7291（直通）

## 「浅川を泳ぐ魚」を展示

浅川は高尾山や陣馬山などを源流として市の中心部を流れる代表的な川です。近年は、公共下水道の普及などにより水質が改善され、さまざまな魚が住めるようになっています。

市では、市民の皆さんに清流が復活した浅川を実感していただくため、環境月間に合わせ、6月の1か月間市役所1階市民ロビーで、「浅川を泳ぐ魚」を展示しました。

市役所を訪れた皆様には水槽の涼しげな風情が好評でした。

「良好な水環境を未来の子どもたちにつなげていく」という思いを多くの方に持っていただききっかけとするために、来年以降も実施していきます。



水槽展示の様子

## アユの遡上を確認

浅川の魚道整備に伴い、八王子市役所横の鶴巻橋付近でもアユの遡上が見られます。多摩川漁業協同組合八王子支部では今年1600匹のアユを浅川に放流しました。市では魚が更に上流まで遡上ができるよう関係機関に働きかけを行っていきます。



## 第3回あさかわ写真コンクール ～未来へつなげる私たちのあさかわ！～ 次世代まで残していきたい浅川の様々な写真を募集中です

浅川（北浅川）、南浅川で撮影したものであれば、撮影の時期は問いません（未発表、他に応募していないものに限りません）。「いま」や「むかし」の浅川を伝える写真をぜひお寄せください。

〆切は8月31日

詳しくは“第3回あさかわ”で検索

この事業は多摩東京移管120周年を記念した東京都「多摩の魅力発信プロジェクト」と連携しています。

<http://tama120.jp/>

ご応募・お問い合わせは水環境整備課（Tel.620-7291）まで



まちの話題

「水辺の水護り制度」に登録していただいている泉町町会を紹介します。

泉町は、町名が示すように昔から湧水に親しまれてきた地域です。町会は平成24年3月に水護り制度に登録。泉町湧水群を中心とした水辺の清掃や調査活動を積極的に行っています。



矢作町会長

会長：泉町は昔から田んぼや湧水が多いところでした。家が立ち並びにつれて水路も汚れてしまいましたが、下水道の整備が進んだ最近では昔のようにきれいになり、住民の中で水辺が見直されています。水辺の保全を個人ではなく、町会全体で取り組みたいという意識から、水護り制度へ登録しました。調査活動で得た動植物の知識も清掃活動にとっても役立っています。

副会長：一時は汚れてしまったものの、水路がきれいに戻ると共に水草も伸びるようになりました。手つかずの状態では草の茂る水路はゴミで汚されたりしますが、手入れが行き届いていると、住民一人ひとりにもきれいにしていく意識が生まれています。

副会長：平成23年の町会設立60周年を記念して、水辺に自生する「カラー」を町会の花に制定し、町をあげて大切にしています。



町会役員のみなさん



水辺清掃活動



泉町湧水群での植物調査

八王子の「東京の名湧水57選」

東京都では、湧水保全の取り組みのひとつとして、都内の湧水のうち、水量や水質、その由来、景観などに優れたものを「東京の名湧水57選」に選定しています。

八王子市内では、叶谷榎池、子安神社(中野山王)、六本杉公園、片倉城跡公園、小宮公園の5か所が選ばれています。

片倉城跡公園も「名湧水57選」の一つです



～ナガエミクリ～

(長柄実栗)

ナガエミクリはミクリ科の

植物の一種で湖沼、河川、水路などに生育する多年生の水草です。花や実の様子が栗のイガに似ているので名前にミクリが入っています。

花期は7月から9月頃で、現在は環境省の準絶滅危惧種の指定を受けていますが、泉町の湧水群水路などでその姿を見ることができます。



～編集だより～

昨夏は、8月以降記録的な少雨に見舞われ、都内でダムの取水制限が実施されるほどでした。今年は梅雨入り当初は雨が少なかったのですが、6月下旬から雨量も増えつつあります。

市街地の川や水路は、台風の接近などで大雨が降ると水位が急に高くなることもあり、これからの季節は注意が必要です。

最後に、発行にあたり快く取材にに応じていただいた泉町町会役員の皆様にお礼申し上げます。